



多くの人に読書の機会を

6月、図書館本館に「上尾市図書館りんごの棚」を設置いたしました。「りんごの棚」とは、スウェーデンの公共図書館が発祥で、特別な配慮を必要とする子ども(視覚障害・学習障害など)が利用しやすい本のコーナーです。

「上尾市図書館りんごの棚」は年齢を問わず身体に不自由のある人も読みやすい本などを排架しています。この事業は、SDGsの「質の高い教育をみんなに」「人や国の不平等をなくそう」「平和と公正をすべての人に」の目標に対応をしており、全ての人に読書の機会を提供するための取り組みです。

私自身、図書館に行き、実際にでこぼこした絵や点字で書かれた本、いろいろな素材でできた絵を触って楽しむ「さわる絵本」などを体験しました。排架してある本一つ一つが丁寧に作られ、読みやすい工夫がされていることに感銘を受け、多様なニーズに対応した本があることを知りました。

りんごの棚を設置したことで、市民の方が図書館を訪れ、たくさんの本や音声などを媒体とする資料に興味を示している姿を見ることができ、胸がいっぱいになりました。多くの方が本と関わり、本を通じてさまざまなことを知ることが大切だとより痛感いたしました。今後も市民の皆さまに気軽に来館いただけるよう、「誰もが本と出会える図書館」を実現させてまいります。



りんごの棚

市長 畠山 稔